

□中国実業団陸上競技連盟の理念

本連盟は、企業・団体内における陸上競技の振興と加盟団体相互の交流を図るとともに、選手の育成・強化を通じて、中国地区ひいてはわが国の陸上競技界の発展に寄与することを目的とする。




会長 吉居 卓也

□中国実業団陸上競技連盟の誕生

日本実業団陸上競技連合の組織は、4地区連盟{関西連盟、中部連盟「以上1955年(昭和30年結成)」、西日本連盟、東日本連盟「1957年(昭和32年結成)」}により発足した。しかし、1959年(昭和34年)頃から組織の再編成により、中国連盟は、東洋工業(現マツダ)が、中心となり結成された。

当初は、山口、島根県は西日本連盟に、広島、岡山、鳥取は関西連盟に所属していたが、これでは中国地区として不自然である、と言う声かですて本来の中国5県にまとまって再編成された。中国連盟の結成式は、日本実業団連合の当時の山田秀介理事長、永井利平事務局長をはじめ4地区連盟からの代表者を招聘し、華々しく行なわれた。

この席上で、初代中国連盟会長に就任した、松田恒次東洋工業社長(当時)が、1964年(昭和39年)の東京オリンピックで「東京の空に、たとえハンカチのような小さいものであってもよい、“日の丸””を揚げたいばかりにこの役目を引き受けた」と、披露された。

(日本実業団連合30年のあゆみより)

□中国実業団陸上競技連盟の足跡

年度	内 容
1961	1961年(昭和36年)7月17日、広島県宮島の東洋工業(現マツダ)迎賓館にて、松田恒次東洋工業社長(当時)のもと華々しく結成式をあげて誕生した。
1962	<ul style="list-style-type: none">・第1回中国実業団対抗陸上競技選手権大会が広島市の広島県営陸上競技場にて開催され東洋工業総合優勝し、初代のチャンピオンに。・第2回大会以降は山陽3県の持ち回りで開催していたが、第35回大会(1996年)から三次市にて固定化し開催している。・第1回中国実業団対抗駅伝大会が宇部市～光市往復7区間91.6kmで開催され東洋工業が4.46.29で優勝し初代のチャンピオンに。・第2回大会以降安芸郡府中町～川尻往復で2回、光～由宇往復で6回、防府～徳地往復で1回、倉敷～笠岡往復で2回、1974年より広島県世羅町にて開催している。
1967	<ul style="list-style-type: none">・西谷一輔氏(東洋工業)が秩父宮章受賞。・電電中国が第12回全日本実業団駅伝大会(83.0km)で初優勝(4.14.57)(伊勢市)

- 1969 東洋工業が第 14 回全日本実業団駅伝大会 (83.0 km) を大会新で初優勝 (4.08.11)
- 1970 電電中国が第 15 回全日本実業団駅伝大会 (99.4 km) で 2 度目の優勝 (5.00.59)
- 1971 東洋工業が第 16 回全日本実業団対抗駅伝大会 (99.4 km) で 2 度目の優勝 (5.02.08)
- 1974 ・第 13 回中国実業団対抗駅伝大会を倉敷市から広島県世羅町に開催地を変更した。
・鐘紡が第 19 回全日本実業団対抗駅伝大会 (99.0 km) を大会新で初優勝 (5.01.42)
- 1976 鐘紡が第 21 回全日本実業団対抗駅伝大会 (99.0 km) を大会新で 2 度目の優勝 (4.58.42)
- 1977 鐘紡が第 22 回全日本実業団対抗駅伝大会 (99.0 km) で 3 度目の優勝 (5.00.10)
- 1985 浜村秀雄氏 (協和発酵防府) が秩父宮章受賞。
- 1986 貞永信義氏 (鐘紡) が秩父宮章受賞。
- 1996 ・鐘紡が第 40 回全日本実業団駅伝大会 (86.3 km) で 4 度目の優勝 (4.14.33) (前橋市)
・中国実業団陸上競技連盟の事務局員を専従職員とし固定化した。
・第 35 回中国実業団対抗陸上競技選手権大会を三次市にて固定化し開催している。
・高岡寿成選手 (鐘紡) が第 26 回アトランタオリンピックに出場 (10000m 27.53.03)。
・三村 清登氏 (デオデオ) が秩父宮章受賞。
- 1997 ・清水康次選手 (N T T 西日本) が第 18 回東京国際マラソンで優勝 (2.10.09)。
・清水康次選手 (N T T 西日本) と高岡寿成選手、服部孝宏選手 (以上鐘紡) が第 6 回世界陸上アテネ大会に出場。
- 1998 高岡寿成選手 (鐘紡) がベルギーにて 5000m の日本記録樹立 (13.13.40)
- 1999 ・山口衛里選手 (天満屋) が第 21 回東京国際女子マラソンで優勝 (2.22.12)。
・高岡寿成選手 (鐘紡) がスペインにて 3000m の日本記録樹立 (7.41.87)
・清水康次選手 (N T T 西日本) がマラソンで、高岡寿成選手 (鐘紡) が 5000m と 10000m で第 7 回世界陸上セビリア大会に出場。
(清水 7 位 2.15.50、高岡 5000m 14 位 13.47.44、10000m 12 位 28.30.73)
- 2000 ・松尾和美選手 (天満屋) がベルリンマラソンで優勝 (2.26.15)。
・高岡寿成選手 (カネボウ) と山口衛里選手 (天満屋) が第 27 回シドニーオリンピックに出場。(高岡 10000m 7 位 27.40.44、5000m 15 位 13.46.90、山口 7 位 2.27.03)
- 2001 高岡寿成選手 (カネボウ) がアメリカにて 10000m の日本記録樹立 (27.35.09)
- 2002 高岡寿成選手 (カネボウ) がシカゴマラソンにて日本記録樹立 (2.06.16)
- 2001 ・松尾和美選手 (天満屋) が第 22 回名古屋女子マラソンで優勝 (2.26.01)
・油谷繁選手 (中国電力) と松尾和美選手・松岡理恵選手 (以上天満屋) が第 8 回世界陸上エドモントン大会のマラソンに出場。
(油谷 5 位 2.14.07、松尾 9 位 2.29.57、松岡 22 位 2.34.45)
- 2003 ・油谷繁選手、佐藤敦之選手、尾方剛選手 (以上中国電力)、清水康次選手 (N T T 西日本) と坂本直子選手、松岡理恵選手 (以上天満屋) が第 9 回世界陸上フランス大会のマラソンに出場。
(油谷 5 位 2.09.26、佐藤 10 位 2.10.38、尾方 12 位 2.10.39、清水 22 位 2.13.19、坂本 4 位 2.25.25、松岡 途中棄権)
・渡辺一秀氏 (マツダ) が秩父宮章受章。

- 2004
 - ・中国電力が第 48 回全日本実業団駅伝大会（100 km）で初優勝（4.47.03）（前橋市）
 - ・坂本直子選手（天満屋）が第 23 回大阪国際女子マラソンで優勝（2.25.29）。
 - ・油谷繁選手（中国電力）と坂本直子選手（天満屋）が第 28 回アテネオリンピックのマラソンに出場。（油谷 5 位 2.13.11、坂本 7 位 2.25.25）
 - ・N T T 西日本の活動拠点が広島市から大阪市（関西実業団）へ移動。
 - ・尾方剛選手（中国電力）が第 58 回福岡国際マラソンで優勝（2.09.10）
- 2005
 - ・尾方剛選手（中国電力）と高岡寿成選手、入船敏選手（以上カネボウ）が第 10 回世界陸上ヘルシンキ大会の男子マラソンに出場。
（尾方 3 位 2.11.16、高岡 4 位 2.11.53、入船 20 位 2.17.22）
 - ・高岡寿成選手（カネボウ）が第 26 回東京国際マラソンで優勝（2.07.41）
- 2006
 - ・森本友選手（天満屋）がウィーン国際女子マラソンで優勝（2.24.33）。
 - ・カネボウの活動拠点が防府市から東京都（東日本実業団）へ移動。
- 2007
 - ・中国電力が第 51 回全日本実業団対抗駅伝大会（100 km）で 2 度目の優勝（4.47.02）
 - ・尾方剛選手（中国電力）が第 11 回世界陸上大阪大会男子マラソンで 5 位入賞（2.17.42）
- 2008
 - ・中村友梨香選手が第 9 回名古屋女子マラソンで優勝。（2.25.51）
 - ・尾方剛選手、佐藤敦之選手（以上中国電力）と中村友梨香選手（天満屋）が第 29 回北京オリンピックの男女マラソンに出場。
（尾方 13 位 2.13.26、佐藤 76 位 2.41.80、中村 13 位 2.30.19）
- 2009
 - ・佐藤敦之選手が第 12 回世界陸上ベルリン大会男子マラソンで 6 位入賞。（2.12.05）
 - ・中村友梨香選手（天満屋）が 5000m（12 位 15.13.01）と 10000m（7 位 31.14.39）に出場。
- 2010
 - ・天満屋が第 30 回全日本実業団対抗女子駅伝大会で初優勝。（2.14.35）
 - ・神田眞樹氏（マツダ）が秩父宮章受章。
- 2012
 - ・重友梨佐選手（天満屋）が、第 31 回大阪国際女子マラソンで優勝（2.23.23）。
 - ・重友梨佐選手（天満屋）が、第 30 回ロンドンオリンピックに出場。（79 位 2.40.6）
 - ・木村文子選手（エディオン）が、第 96 回日本陸上競技選手権大会の 100mH で 13 秒 25 で優勝し、第 30 回ロンドンオリンピックに出場。（予選 1 組 7 着 13 秒 75）
 - ・ジョセフ ギタウ選手（JFE スチール）が、第 66 回福岡国際マラソンで優勝（2.06.58）
- 2016
 - ・賀屋健治氏（マツダ）が秩父宮章受章。

□中国実業団陸上競技連盟事務局歴任

年 度	事務局会社	会 長	理 事 長	事務局長
1961.7.17～1968.3	東洋工業	松田 恒次	河村 郷四	難波 貞治
1968.4.01～1972.3	宇部興産	椋梨 実	品田 義雄	松永 緑
1972.4.01～1974.3	三菱自動車水島	笹尾鮮三郎	近藤 栄男	三宅 金一
1974.4.01～1975.3	三菱自動車水島	笹尾鮮三郎	近藤 栄男	田辺あきら
1975.4.01～1978.3		沢田圭一郎	-	-
1978.4.01～1979.3	日立造船	福山 登	植野 市郎	光永五十彦
1979.4.01～1980.3	鐘紡	福井 重三	中山 健治	貞永 信義

年 度	事務局会社	会 長	理 事 長	事務局長
1980.4.01～1981.3	新日鉄光	平野 奎三	福島 一雄	岩満 康一
1981.4.01～1982.3	新日鉄光	森 朗	福島 一雄	岩満 康一
1982.4.01～1985.3	三菱自動車水島	岡野 進	澤田 耕三	牧野 章
1985.4.01～1988.3	マツダ	正岡 博	宮本 秀一	賀屋 健治
1988.4.01～1990.3	鐘紡	三好 恭司	窪田 知之	貞永 信義
1990.4.01～1991.3	鐘紡	中川 裕文	窪田 知之	貞永 信義
1991.4.01～1994.3	三菱自動車水島	澤田 耕三	難波 英明	本常 治雄
1994.4.01～1996.3	マツダ	渡辺 一秀	宮本 秀一	賀屋 健治
1996.4.01～2006.5	マツダ	渡辺 一秀	神田 眞樹	賀屋 健治
2006.5.12～2007.5	マツダ	神田 眞樹	藤賀 猛	賀屋 健治
2007.5.11～2007.6	マツダ	神田 眞樹	梶原 恒泰	賀屋 健治
2007.6.27～2015.3	マツダ	黒沢 幸治	梶原 恒泰	賀屋 健治
2015.4.01～2016.5	JFE スチール	吉居 卓也	木島 博正	坂梨 博
2016.5.01～	JFE スチール	吉居 卓也	藤井 久敬	坂梨 博